

平成 20 年度第 2 回「健康食品」による
健康被害事例専門委員会の報告

平成20年度第2回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1 開催日時・場所

平成 21 年 1 月 26 日 午後 6 時から午後 8 時まで
都庁第一本庁舎 42 階 特別会議室 B

2 議 事

(1) 社団法人東京都医師会及び社団法人東京都薬剤師会の各会員への情報提供について

平成 20 年度第 1 回専門委員会において積極的に情報収集するよう努めるものとされた 11 成分の事例について、各委員の意見を踏まえて文書を作成し、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供した旨報告

(2) 事例の検討について

平成 20 年 6 月 1 日から 11 月 30 日までに報告のあった 17 事例について検討
急いで調査すべき事例はなかったが、積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例について、今後、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供し、類似の事例を収集

(3) 都医師会・都薬剤師会情報共有事業アンケート調査結果について

平成 20 年 8 月・10 月に都薬剤師会・都医師会へ依頼して実施した、健康被害情報提出経験の有無や各種普及啓発資材の認識度、健康食品についての問診状況などのアンケート結果を報告

(4) 報告事例について

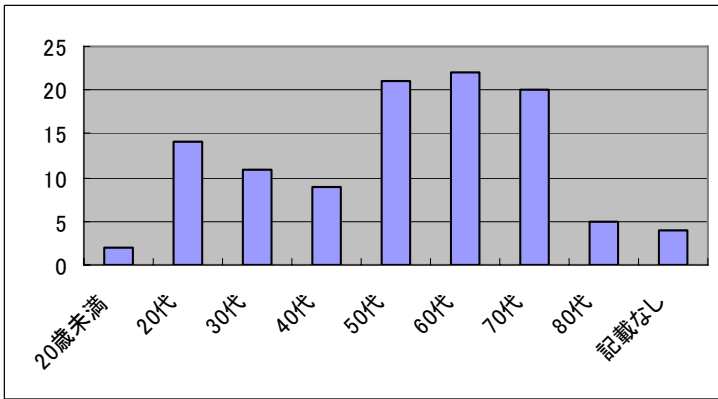
平成 18 年 7 月 1 日から平成 20 年 11 月 30 日までに報告のあった延べ 143 事例について、次のとおり報告

なお、報告のあった製品と症状との因果関係は不明

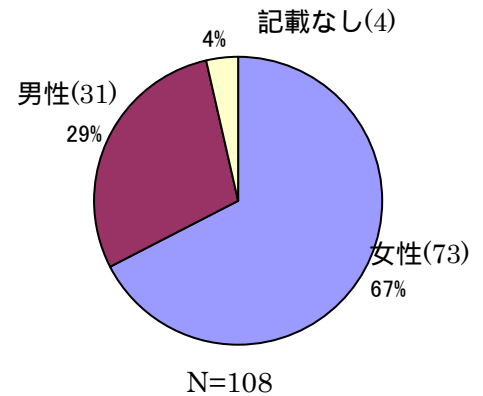
ア 報告事例の内訳

医師会	71人	延べ	102製品
薬剤師会	37人	延べ	41製品
計	108人	延べ	143製品

イ 年齢別人数分布
人数 (N = 108)



ウ 性別割合



年齢別人数分布によると、20代及び50～70代の報告が多い。
性別割合によると、女性（73人、67%）の報告は、男性（31人、29%）の2倍以上であった。

エ 健康食品の入手方法

入手方法	製品数
薬局・薬店・ドラッグストア	46
インターネット・カタログ通販等	41
知人からもらった	8
個人輸入	3
訪問販売	1
健康食品勉強会	1
医師に勧められた	1
不明	38
記載なし	4
合計	143

オ 健康食品の利用目的

目的	製品数
健康維持・栄養補給	40
関節痛(ひざなど)	16
ダイエット	16
病状の改善	10
血液をさらさらにする	5
美肌	5
バスタップ	3
その他(強肝/利尿など)	17
不明	20
記載なし	14

※複数回答あり

健康食品の入手先としては、「インターネット・カタログ通販等」や「薬局・薬店・ドラッグストア」が多く、それぞれ全体の約3割を占める。

健康食品の利用目的は、「健康維持・栄養補給」、「関節痛(ひざなど)の改善」、「ダイエット」などであった。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿
(五十音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
池上 幸江 ()	大妻女子大学教授
梅垣 敬三	独立行政法人国立健康・栄養研究所 情報センター長
江本 秀斗	社団法人 東京都医師会理事
内藤 裕史	財団法人 日本中毒情報センター理事
浜野 弘昭	特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構事務局長
原 博	社団法人 東京都薬剤師会理事
廣畑 俊成	北里大学医学部膠原病・感染内科教授

() 座長